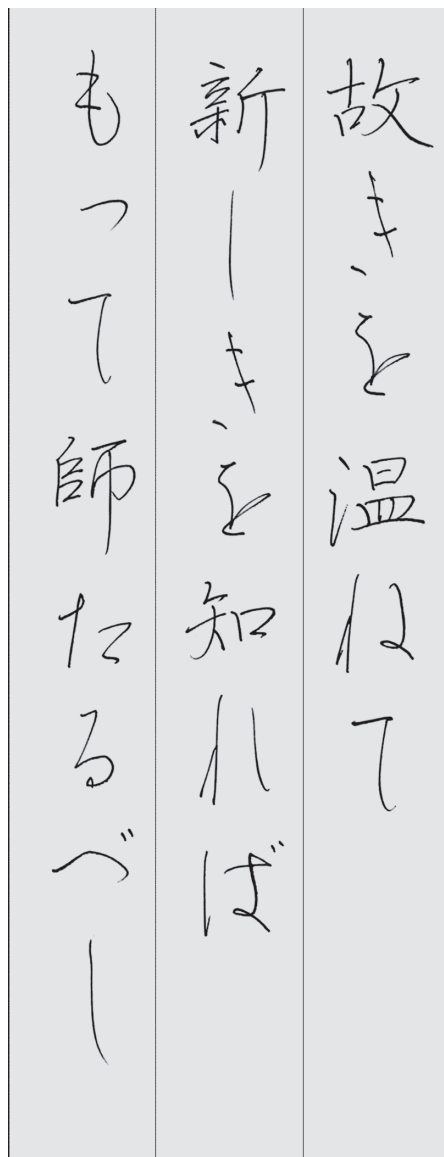


憲照先生の手本ア・ラ・カルト(6)
(à la carte)

締切り 六月二十四日(必着)

昭和55年1月



つけペン・墨汁使用

〔解説〕

長く 故

温

知

師

長く リズミカルに 知

長く 軽く 温

サッと 師

のびのびと やわらかく曲げる

のびのびと

やわらかく曲げる

サッと

のびのびと

◎ 本会は、今年で創立六十六周年を迎えます。昨年はコロナ禍で、世界中が混乱に陥り、本会としても過去にない大打撃を受けました。しかしながら諸先生、会員の皆様の「書」への意欲は消えることなく、時間と共に基本的活動は戻りつつあります。

◎ この現状を踏まえ、今年の短期特別課題は、『原点回帰』をテーマとして、本会の創設者奥村憲照先生の手本を改めて学び直すことにいたします。お手本は、硬筆、毛筆、一般部、教育部なども合わせれば相当数あります。一種類を四ヶ月交替で掲載していく予定です。◎ 多くの方がかつて憧れた憲照先生の書と向き合うことで、書への情熱を今一度燃え上がらせていただければと思います。

◎ 創立七〇周年に向けて、力強く歩んで行きましょう。

★故きを…(書体Ⅱ行書)

論語(孔子〈前五五二〜四九七・中国、儒家の祖〉の言行を記した本)に書かれている。「温故知新」という。現在では過去なくしては存在しない。しかし人の世は日進月歩する所がないのであるから、その新しい物も身に着けなければならぬ。その古いもの、新しいものに共に通じてこそ、初めて人の師となることができるのである。

※「故きを温ねて」と読みます。

〔作品の出し方〕

▼今回は硬筆部だけに限ります。全員本会段位用紙に書いて下さい。硬筆を習っていない方も、出品は可能です。ご自由にどうぞ。

▼硬筆ならば用具は自由ですが、線美を追求のためには、つけペン・墨汁をお薦めします。

▼出品制限の対象とはなりません。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績を、作品余白にお書き下さい。

※不明な点は無記入でも結構です。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

▼月例作品と同封する場合は、必ず別のビニール袋に分け、表に「月例」「短期特別」と明記して混同しない様をお願いします。

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔変換例〕

惚

醸

造

消

毒

液

点の位置

◎今月は楷書。楷書を学ぶ上で最も大切なことは、明快な線と一点一画を丁寧に運筆することです。

▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。

自慢の消毒液です
醸造器であり
鏡は己惚れの

新井龍峰書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕

想

像

無

知

刃

向

人	知	想
に	ら	像
刃	ぬ	力
を	う	の
向	ち	無
け	に	さ
る		は

大谷清城書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

▼教範・書範＝楷書
▼師範＝行草または草書

◆7月課題予告（行書）
人生において一度は
可能な限りあらゆる
事物を疑ってみる事だ

★鏡は…（書体＝楷書）
夏目漱石（一八六七～一九一六）
明治・大正期の小説家
鏡は、自分を最も具体的に映し出します。しかし、見る者の心理によって、鼻持ちならないナルシストに仕立てたり、逆に傲慢さを打ち砕いて当人を嘆かせたりします。
時には、鏡に自分自身の心をも写してみたいものです。

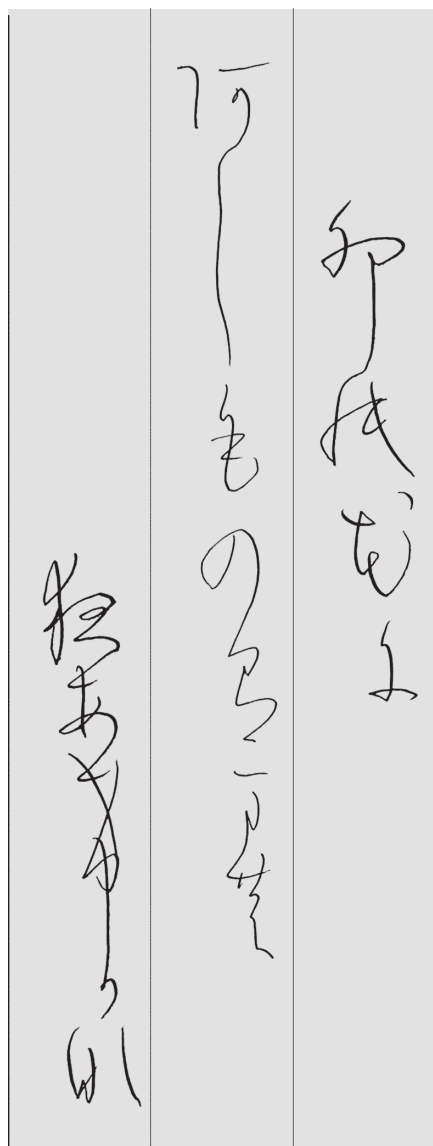
◆7月課題予告（楷書）
誠実は
人間の保ちうる
最も高尚なもの

★想像力の…（書体＝行書）
田尻久子（一九六九～）
橙書店を営むエッセイスト
作家はテーブルの下で寝そべる猫の気持ちにならなくて、そこに身を横たえてみます。そこで、何が安心か、何に怯えるのか、ありありとわかりました。
その後、子供の眼の高さ、車椅子の人の眼の高さから書棚を見つめ、「想像力だけでは足りない」と悟ります。

準初段から六段まで

新入から1級まで

卯能
尔
阿しの花に蘆毛有万農の馬あ希可那の夜明かな



た なか き こう
田 中 貴 光 書

▷用具=自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

卯の花に蘆毛の馬の夜明かな二あし農うま能可奈



た なか き こう
田 中 貴 光 書

▷用具=自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

卵うの花に蘆毛あしげの馬の夜明よあけかな

（森川許六）

〔句解〕ほのぼの明けに雪のように白
い^う卯の花の道を分けて、蘆毛^{あしげ}の馬を乗
り出す旅立ちだ。

〔鑑賞〕〈卵の花〉〔蘆毛〕〔夜明〕と共通するイメージの素材を取り合わせて幻想味を増幅し、それらの語を、〈の〉でたみかけ最後に〈かな〉と決定する決まった仕方の句作りである。

『去来抄』に従えば「卯の花に蘆毛あしげの馬うまを乗込む夜明よあけかな」の意であろう。蘆毛あしげの馬うま＝白に黒または他色の差毛さしげの混じった青みがかった白、または鼠色ねずみに見える馬。

〔古筆参考〕

能の 尔に 農の 希け 奈な

能 能 能 能 能
尔 尔 尔 尔 尔
農 農 農 農 農
希 希 希 希 希
奈 奈 奈 奈 奈

【解説】「ふ」の最後の点は、一二行目の「こ」や「れ」の方へ向くように意識して、少し右上がりに打つ。

◆ 7月課題予告

諫鼓鳥我もさびしいか飛んで行く（ゆい）

なかがわおつゆう
(中川乙由)

締切り 6月24日(必着)

雨上がりの新緑が目にしみる頃となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。私達夫婦は外出を控えて、昨年から家庭菜園を始めました。もうすぐ、新鮮な野菜を送りますので、お楽しみに。

雨上がりの新緑が目にしみる頃と
なりました。いかがお過ごし
でしょうか。私達夫婦は外出を
控えて、昨年より家庭菜園を始め
ました。もうすぐ、新鮮な野菜を
送りますので、お楽しみに。

※手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

御伽噺の「とき」とは、主人などの
話相手になることを意味している。

愛知県新城市 氏 名

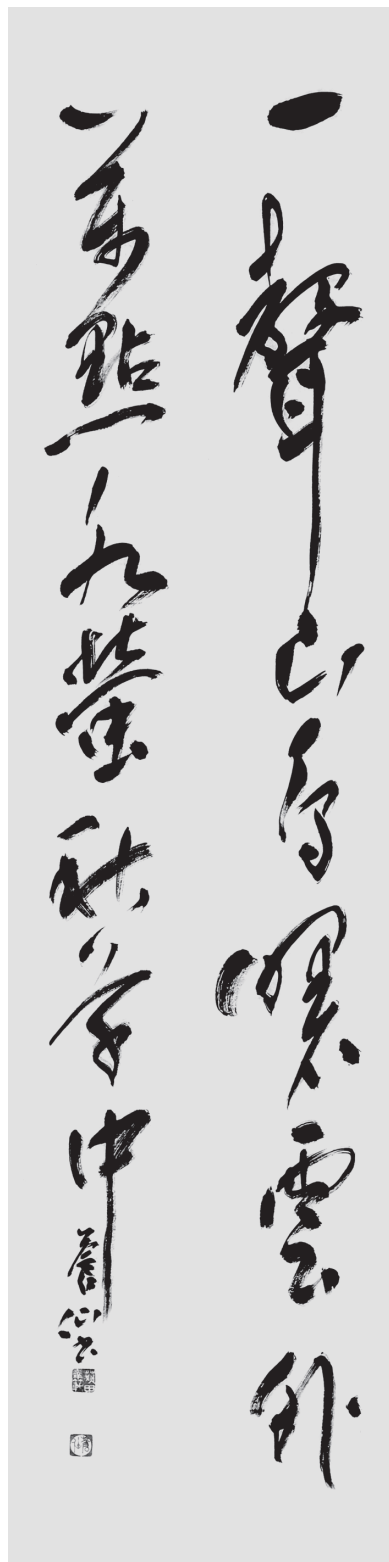
※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題

締切り 六月二十四日（必着） 半切（一三六cm×三五cm）

荻田蒼仙書



一 聲 山 鳥 曙 雲 外
萬 點 水 螢 秋 草 中

許 渾

〔大意〕山鳥が朝焼けの雲のむこうで一声鳴き、水辺の螢はほの暗い秋草の中に点滅する。

初出品の方へ

支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

くちなしの花が咲き甘い香りを

漂わせています そろそろ梅雨に

入りますが燕の飛び交う姿などを

眺めては心を和ませています

齋田英樹

書 香 梅 藤 伊

半紙（334mm×240mm）

※検定試験三段コースを兼ねる。

〔条幅解説〕

「何時でもきちっとした楷書が書けねばいけない」と師の言葉の意味が少し理解出来るようになり、そしてその事が大切だという事が！楷書は自己添削で上達しますのでこれも努力目標のひとつ。

くちなしの花が咲き甘い香りを
漂わせています そろそろ梅雨に
入りますが燕の飛び交う姿などを
眺めては心を和ませています

（自分の氏名）

・印で墨つきしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績（天位～5等）は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

新入から1級まで(行書)

須田 一葉書

〔解説〕

微雨夜来過

微雨夜来過

微雨夜来過

〔大意〕 静かな小雨が昨夜通り過ぎていった。

◎上達のポイント：結構法

美しい文字を書くためのポイントは結構法をしっかりと学習する事です。漢字は個々に結体を考えると非常に多く大変ですから、共通項を纏めて覚えれば上達の早道です。例えば偏と旁について述べてみます。
・横線は概ね5度位の右上がりが良いとされていますが、偏の場合は15度位の右上がりになります。偏の縦線は中心を右寄りにずらします。

〔例〕 禾 才 禾 言

・旁は右上がりを抑えるとバランスが良くなります。

〔例〕 校 打 和 計

・偏、旁のない文字は中心を正しく定めて書けばバランスの良い字になります。

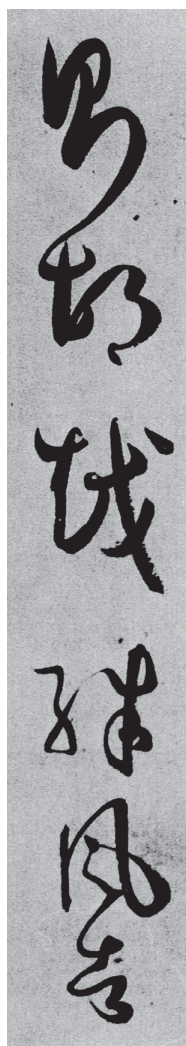
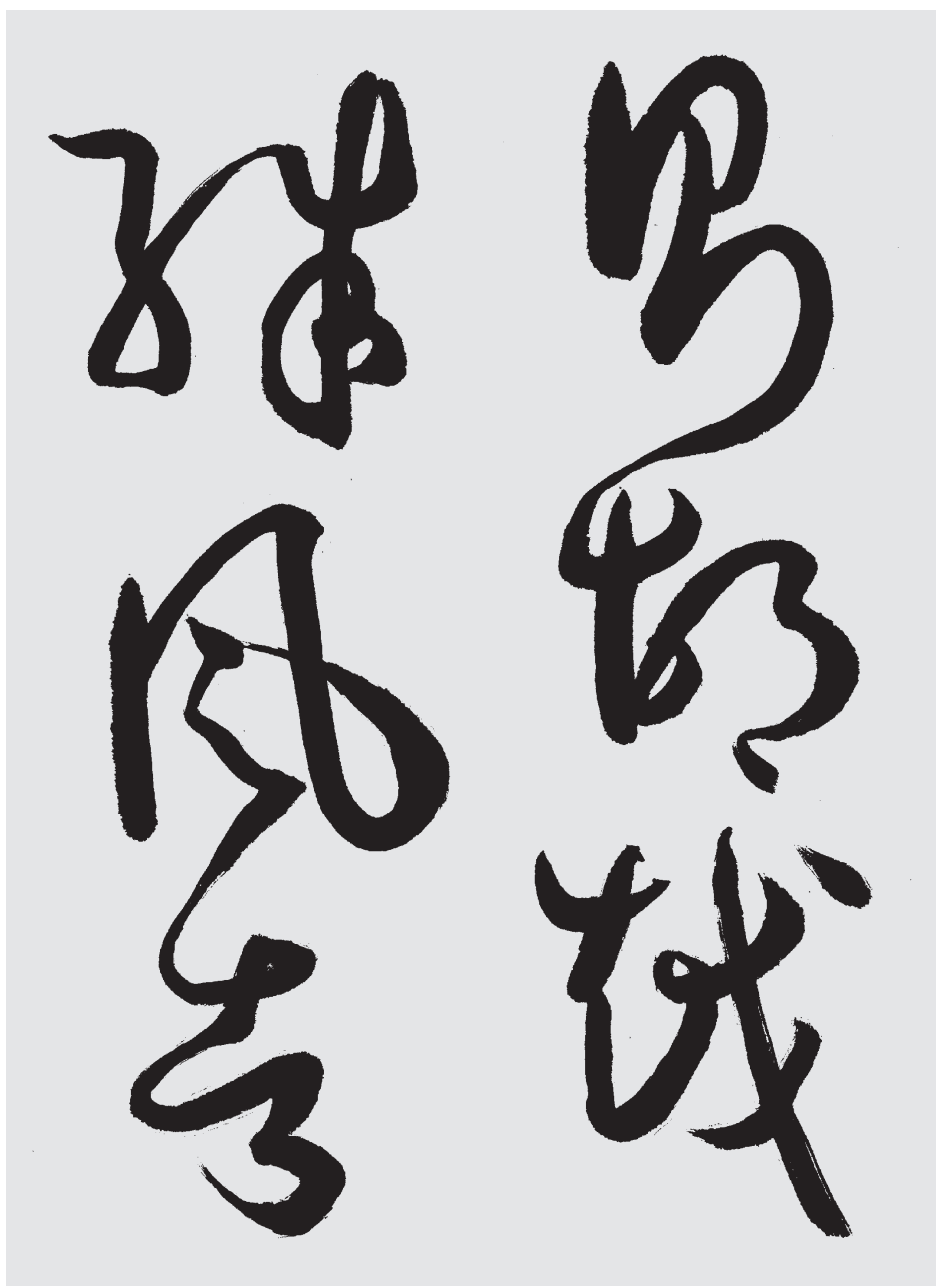
このように共通項を会得して応用すれば、上達の早道となるでしょう。

◆7月課題予告(楷書)

禪房夏木深

準初段から師範まで

奥村暢之臨

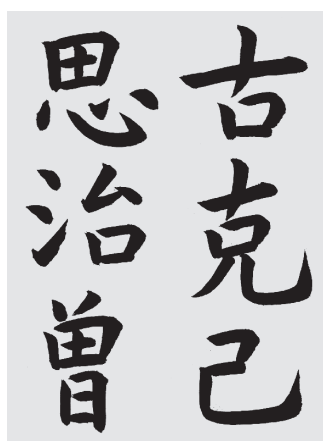


則
胡
越
殊
風
者

〔出典〕書譜(六八七)
〔筆者〕孫過庭(六四八?~七〇三?)
〔読み〕則ち胡・越の風を殊にする者なり。
〔解説〕



◆7月課題予告



新入から1級まで

浅井機山先生書

※検定試験1級コースを兼ねる。

夕^{ゆふ}だちや草^{くさ}葉^はをつかむ^{無羅春免}むら雀

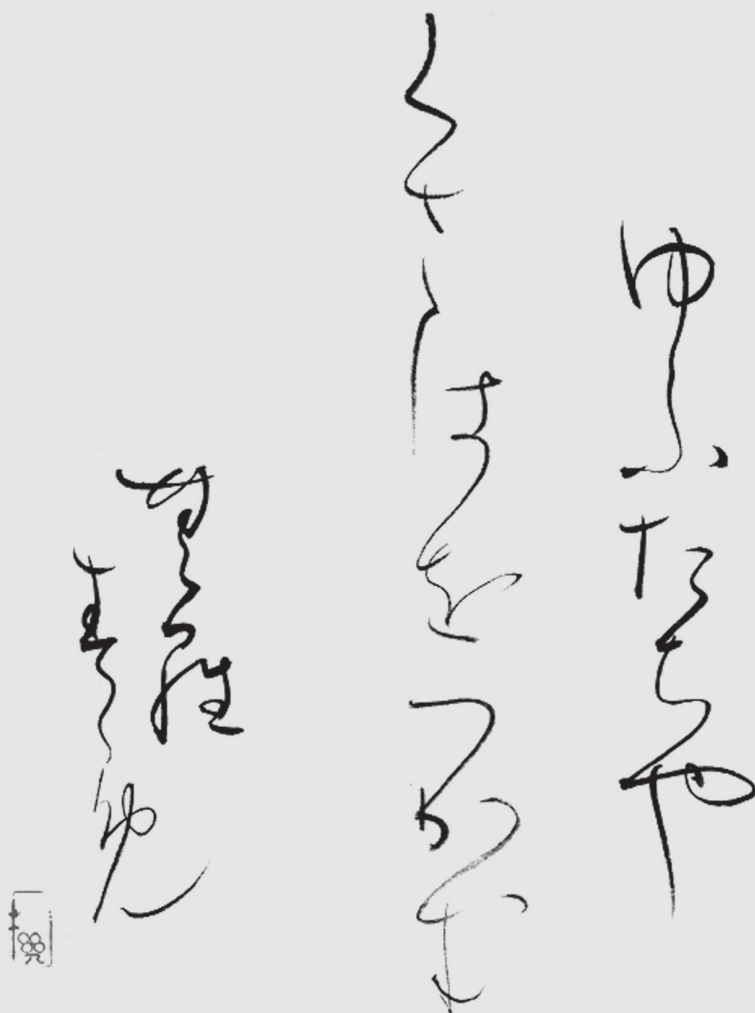
与謝^{よさ}蕪^{おん}村

〔句意〕

「むら雀」は群れを成した雀。激しい夕立に逢い、雀が群れをなして必死に草葉にしがみついている、の意。夏野の情景。

◆7月課題予告

百合^{ゆり}の香^かの風^{かぜ}過^すぎやがて湯^ゆの香^かあり



〔解説〕

五七五の最後の5字を変体仮名で書くことにします。

まず全体を見ると、最後の5字を2字と3字に分けて2行になったのをくっつけています。

1行1行見ていきましょう。

「ゆふ」、「ゆ」は、たっぷり含蓄した筆で、空中上の方からたたくように入り、着地したら、ぐーっと引きまします。「ゆ」の終画から「ふ」へは、うねりながらつながっていきます。そして左右の点でバランスをとって書きおさめます。

「たちや」、「たち」「ちや」の連綿線の方向(角度)と太さが違いますから、同じように書かないことが大切です。

「くさはを」、4字連綿しています。

ここでも、連綿線に注意して見ましょう。「くさ」は右から左下へ連綿し、「さは」は連綿線を省略して字と字を直接連綿します。「はを」では大きくうねりながら連綿して三者三様の連綿になっています。

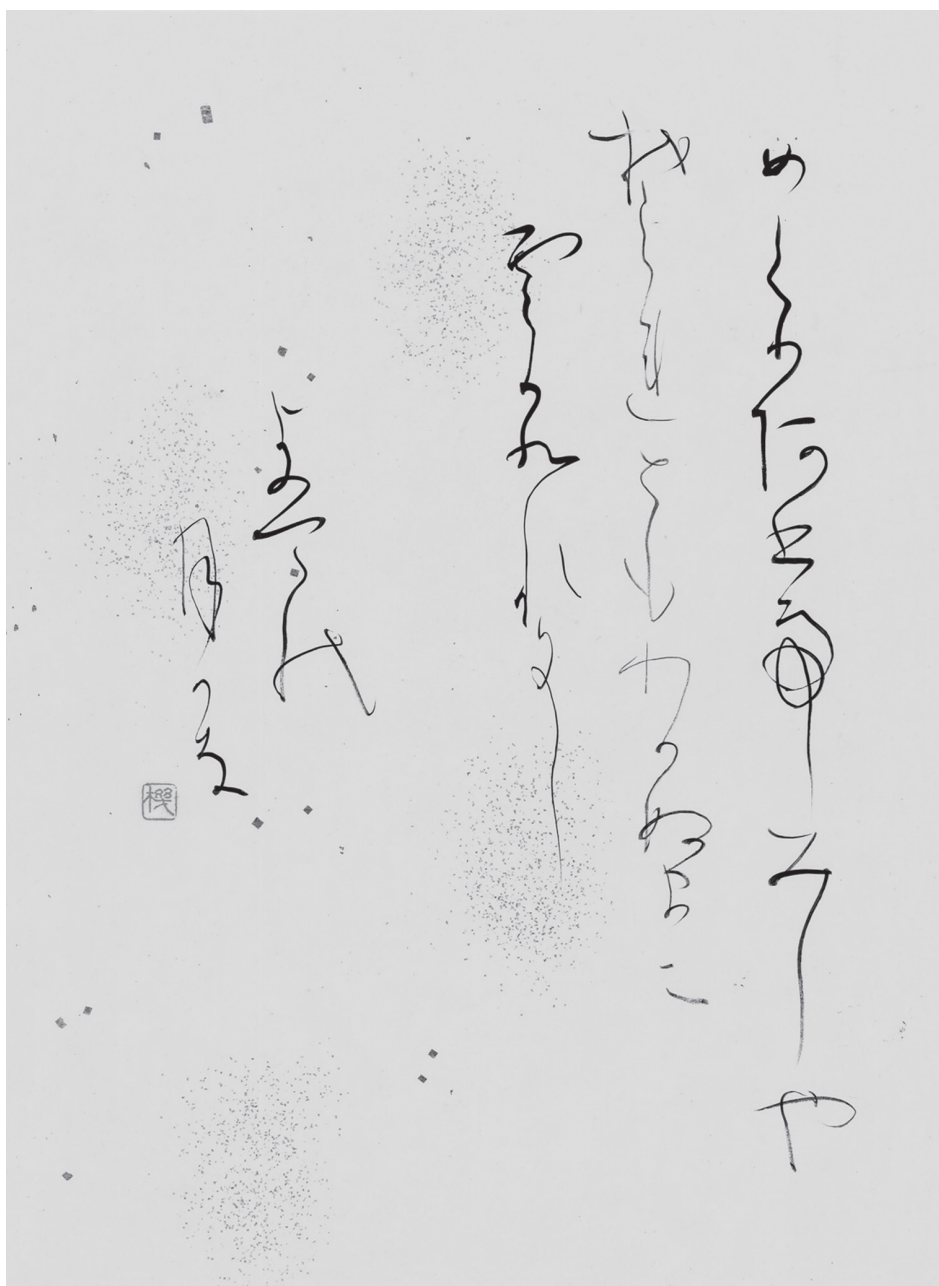
「つかむ」、この連綿線も同じ方向に見えても、やや違いがありますから注意が必要です。

「無羅」、変体仮名の使用は、例えば「む」であれば「無、舞、无、武、牟」のどの字を用いてもいいのです。気に入った字があれば自分はコレと決めて書くのもいいです。

「春、免」、「春、」は畳語というもので、上の字や単語を重ねて使うのに用いています。「免」は細めに書きます。

準初段から師範まで

浅井機山先生書



※検定試験三段コース以上を兼ねる。

めぐり^{利阿悲帝}あひて^{楚連}見しや^{可奈}それとも^{可奈}わかぬ^二まに

雲隠れにし^{可九}夜半の月^{可奈}かな

「新古今和歌集16雑149」紫式部

〔歌意〕

めぐり逢って、目に見たのは月だったのかと見分けのつかない間に、あわただしくも雲に隠れてしまった夜の月よ（ふと出会ってすぐ別れてしまった友を詠む）

◆7月課題予告

小鳥^{ことり}らのいかに^{なつあやま}睦^{むつ}みてありぬべき
夏青山^{なつあやま}に我^{われ}はちかづく

〔解説〕

まず全体を見てみましょう。

右に3行がだんだん短くなっている。左は短い2行が一カタマリになって、紙面の約半分の大きな余白を締めくくっています。

さて、1行1行見ていきましょう。

「めぐり」が、「阿悲帝」で大きく揺らぎ、特に「帝」ではクルクル勢いよく回っています。この「帝」はいろいろな書き方があるので自分の書きやすい字を選んで下さい。

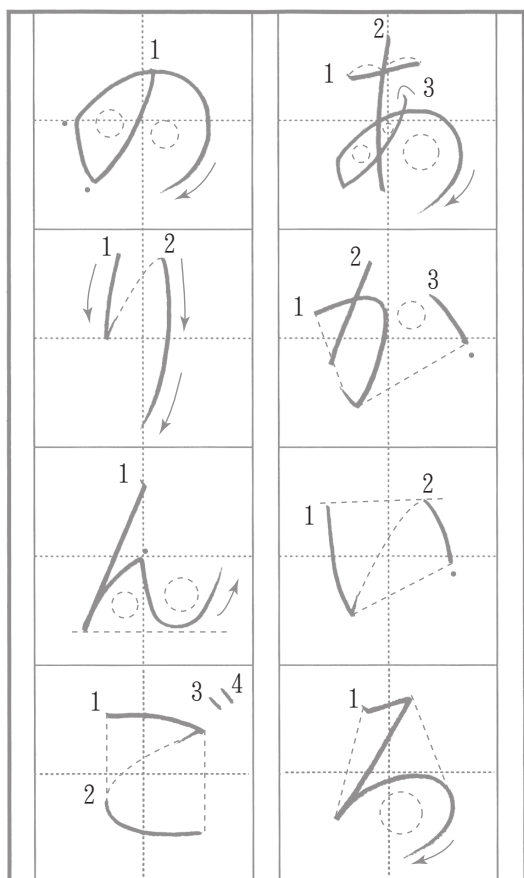
更に、「みしや」と暢びやかに書いて行尾を安定させます。その際、「や」とその下の紙端までの余白が空き過ぎたら縦画を長くし、余白が狭くなってしまうたら縦画を短くして調整します。「楚連とも」：第1行との行間を適当に取りながら、やや上から「楚」を大きく書き出します。行尾は右の「し」の中ほどで書き終えました。

「雲可九」：墨継ぎします。行間を右と同じくらいに取りながら、「め」より下げて「雲可九」と書きます。「れんし」と細めに書いてこの行が第1行の墨量と同じにならないよう気配ります。

「よ盤能」：紙面の左半分に暢びのびと書きます。その際、「よ盤」の字間を接近させ、「盤能」の字間はゆったりさせます。

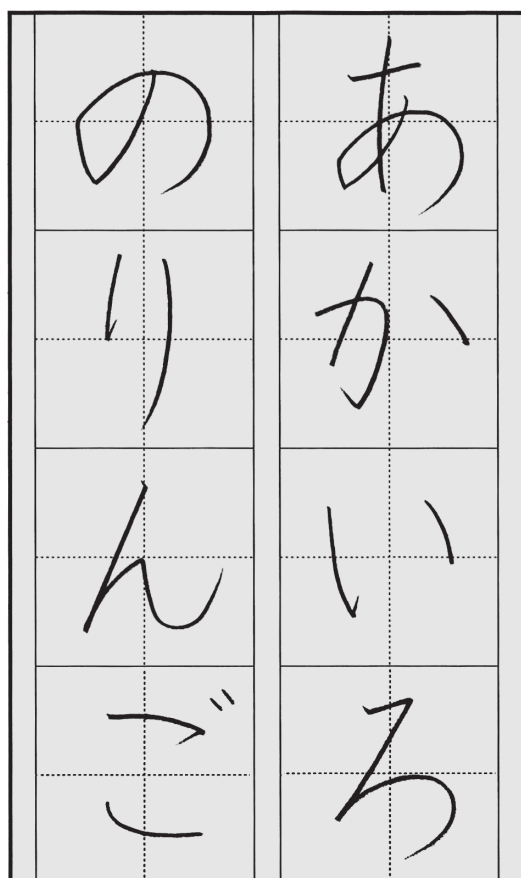
「月可奈」：右行と接近させて「月可」は細めに、「奈」を太くして変化させます。

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



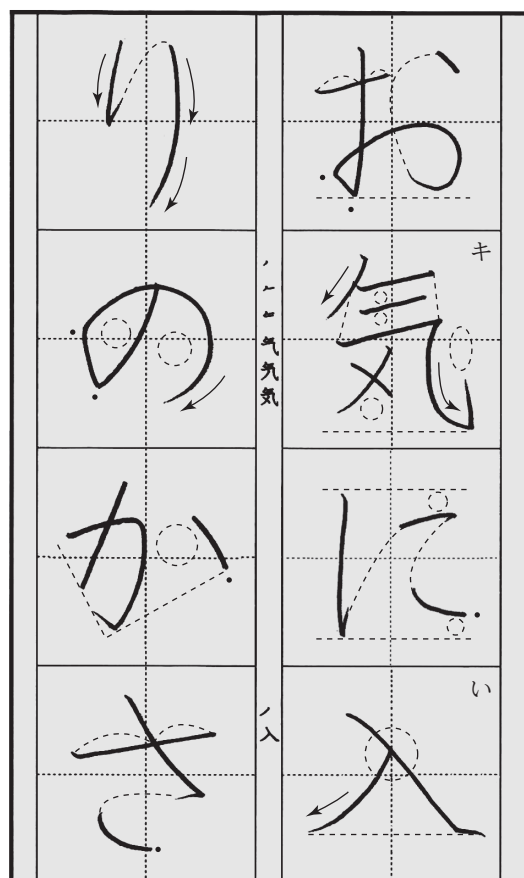
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかきこむ)

い	丸
な	く
小	き
石	れ

新入1級

石	き	川
を	れ	原
ひ	い	で
ろ	な	丸
う	小	く

小二年
準初段以上

人	昔
魚	読
ひ	ん
め	だ

新入1級

ひ	悲	昔
め	し	に
の	い	読
絵	人	ん
本	魚	だ

小三年
準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

小四年

話	楽
と	し
笑	い
顔	会

(全員)

新四年生は、左記により、全員この手本どおり8マス用紙で出書してください。

記

- *用具は自由ですがデスクペン、つけペンで書く人は、硬くならず、のびやかに書く習慣をつけることが第一目的です。
- *六月締切り分までは、この方法が続けます。
- *ペン書きの人は早く慣れるよう、たくさん練習しましょう。
- *七月締切り分からは、準初段以上は従来どおり15マス用紙を使用してください。

〈用具〉自由（黒色に限る）

小五年

つ	を	必
前	達	要
へ	成	な
進	し	条
む	一	件

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説（よく見て習いましょう）

達	必
成	要
前	条
進	件

小四年以上 岡嶋桂川書

〈用具〉自由(黒色に限る)

常	胸
心	高
保	鳴
	平

解説(よく見て習いましょう)

平	を	胸
常	お	の
心	さ	高
保	え	鳴
つ	て	り

小六年

(全員)

購	て	自
入	飲	動
し	料	販
ま	水	売
す	を	機

中二・三年

(楷書)

辞	借	先
典	り	週
を	た	兄
返	和	か
却	英	ら

中一年

(楷書)

▼小三年以下の課題 後 藤 友 泉 書

登	雨	妹	長	黄
校	で	は	ぐ	色
す	も	友	つ	い
る	楽	だ	で	か
	し	ち		さ
	く	と		と

◎お手本はえんぴつ使用



- ◇作品の出し方
- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
 - 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
 - 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
 - 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
 - 一、成績は評価により毎月変わります。
 - 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。

◎お手本はつけペン使用



しめきり 6月24日（必着）

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

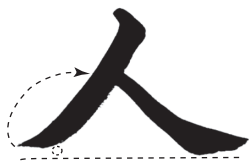
▼小四年以上の課題 江 本 由 泉 書

記	毎	黒	飼	学
録	日	メ	育	級
を	観	ダ	中	の
つ	察	カ	の	仲
け	し	を		間
る				と



小石

かき



小三〜小五年
水野碧友書

小六／中一・三年
玉樹小華書

中三
販自
売動

心平
常

辞

常

動

心

売

中心
英

中一
辞和
典英

第80回 毛筆検定試験受験要項

6月24日締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、六月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。（短期特別課題は出品可）

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴（初回のみ。詳細は本部へ問合せ）の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を七月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。（振替、その他は不可）

●締切り 令和三年六月二十四日（本部必着）

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和三年九月号

▼肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の先生へ、現金書留（返信用封筒同封）でお申込み下さい。

（左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします）

※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

・一般部1級・三段コース

・活字課題

五段コース以上
会友コース以上

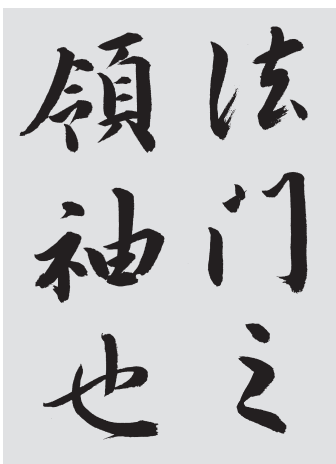
漢字半紙	細字・かな	漢字半紙	細字半紙	条幅	細字	教育部
一、二〇〇円	一、八〇〇円	一、四〇〇円	一、〇〇〇円	三、八〇〇円	二、〇〇〇円	九〇〇円

◆一般部1級・三段コース

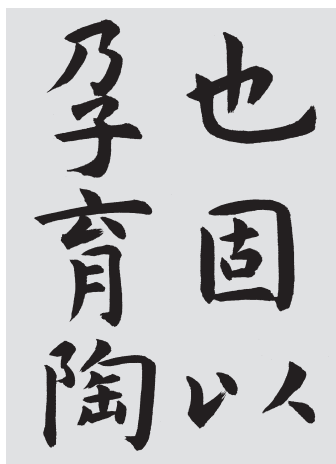
コース	課題	最高昇段	課題	漢字		かな	細字	計	受験料
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	漢字は下掲課題 かなは月例級位課題	1	1	1	—	3	1,600
	三段コース	三段まで	漢字は下掲、かな・細字は月例段位課題	1	1	1	1	4	2,100

〔三段コース漢字課題〕

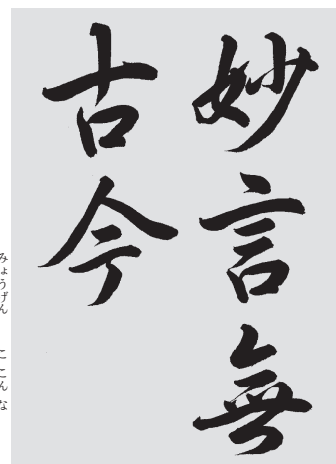
《集字聖教序》



《孔子廟堂碑》



《行書》



《楷書》



みょうげん
妙言に古今無し

神谷葵水先生書

須田一葉書

コース	課 題	受 験 資 格	最 高 昇 位	課 題	漢 字			かな	細 字	条 幅	教育手 部 本	計	受験料
					楷書	行書	草書						
一 般 部	五 コ ー ス	有 段 者 支局・支部長	五段まで	下記（活字）	1	1	1	1	1	—	—	5	2,700
	書 コ ー ス	有 段 者 支局・支部長	書範まで	下記（活字）	1	1	1	1	1	1	—	6	3,200
	教 コ ー ス	書 範 支局・支部長	教 範	下記（活字）	1	1	1	1	1	1	2	8	4,200
教 育 部	普 通 コ ー ス	—	6月しめきりの月例競書課題									1	420
	会 友 コ ー ス	四段以上の中学生 準会友の小学生	6月しめきりの月例競書課題と下記活字課題（行書）									2	740

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。

五段・書範・教範コース受験のきまり

- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のと
おりの受験有資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取
得されていても、受験の際は改めて全科目を提出し
て下さい。ただし、合格科目については、審査の対
象から除きます。
- 一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効
になります。

五段・書範・教範コース課題

漢 字

五段コース以上共通（半紙）

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に
臨書して下さい。

▼孔子廟堂碑

章 往 哲 夫 其 道

▼集字聖教序

仙 露 明 珠 詎 能

▼書 譜

以 爲 評 得 其 綱

かな 三段コース以上共通（かな用半紙）

次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。
◎めぐりあひて見しやそれともわかぬまに
雲隠れにし夜半の月かな（紫式部）

※9頁参照

条 幅 書範・教範コース共通（画仙紙半切）

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

あめはれてかいかにせんせいきゅうに
雨 晴 階 下 泉 聲 急
よるしずかにしてしようかんにげっしよくおそし
夜 静 松 間 月 色 遅

細 字 五段コース以上共通（半紙）

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いてく
ださい。

庭に植えた一本だけの桐の木が
今年も微笑む季節になりました
美しく咲いた花の姿を私なりに
伝えたく絵手紙にして送ります

教育部手本課題 教範コースのみ（半紙）

小 1 お か
小 6 自 然
科 学

※氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
（小1年はひらがなで書くなど）

会友コース課題

家 庭

（行 書）

▼六月締切りの自分の学年
の月例課題一枚
▼上の語句の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩
をとじて出品のこと。

大書心会役員（50音順）

は新任

参 与 功 労 会 員 田 口 智 祥 飯 沼 天 光 大 宮 春 兆 岡 田 龍 芳
理 事 長 佐 藤 碧 山 牧 野 恵 宗
副 理 事 長 新 井 龍 峰 荻 田 蒼 仙 澤 静 雨
専 務 理 事 大 迫 秀 湖 大 谷 清 城 岡 嶋 桂 川
奥 田 三 雲 尾 郷 翠 光 澤 幸 寿
清 水 翠 芳 須 田 一 葉 田 中 貴 光
玉 樹 小 華 土 本 忠 正 水 野 香 竹
築 瀬 舟 香

総 書 記 長 土 本 忠 正（専務理事兼任）
伊 藤 梅 香 内 山 荃 彩 大 澤 美 仙
太 田 智 光 各 務 紅 泉 可 知 佳 葉
加 藤 紅 水 酒 井 智 仔 桜 木 春 苑
佐 々 木 恵 泉 柴 田 桃 花 下 畑 華 照
曾 布 川 子 房 高 木 恵 舟 土 本 扇 玉
樋 田 玲 華 永 谷 恵 子 丹 羽 彩 霞
平 野 高 鳳 平 野 翠 鳳 古 田 瑞 苑
水 野 碧 友 三 宅 容 玉 宮 田 清 翠
大 澤 美 仙 水 野 碧 友

会 計 監 査 《主》酒 井 智 仔 《副》加 藤 祥 子
書 記 鈴 木 亜 矢 子
企 画 委 員 伊 藤 梅 香 岡 嶋 桂 川 酒 井 智 仔
高 原 飛 水 玉 樹 小 華 三 宅 容 玉
安 藤 春 翠 大 崎 水 愁 大 原 啓 園
加 藤 紅 翠 加 藤 祥 子 加 藤 和 楓
小 泉 美 水 後 藤 汀 鶯 清 水 智 泉
鈴 木 京 楓 鈴 木 春 栄 関 頼 翔
田 代 華 光 中 村 翠 苑 成 瀬 伸 芳
林 翠 風 船 戸 翠 峰 前 嶋 玉 華
丸 山 祥 雲 丸 山 晴 香 保 田 翠 苑
山 口 青 苑 山 田 文 子 山 村 光 葉

令和3年度行事予定

月 日	事 項	場 所
6月20日（日） 30日（水）	文部科学省後援書写技能検定試験（硬・毛） 第80回毛筆検定試験審査会	大書心会本部 大書心会本部
7月24日（土） 30日（金）	第100回全国書道硬筆コンクール出品締切り （教育部） 同上コンクール審査会	セラトピア土岐
11月14日（日） 30日（火）	文部科学省後援書写技能検定試験（硬・毛） 第121回硬筆検定試験審査会	大書心会本部 大書心会本部
12月24日（金）	第81回毛筆検定試験審査会	大書心会本部
1月25日（火） 29日（土） 1月30日（日）	第101回全国書道誌上毛筆コンクール出品締切り （一般部・教育部） 同上毛筆コンクール審査会 文部科学省後援書写技能検定試験（硬・毛）	セラトピア土岐 大書心会本部
2月28日（月）	師範試験審査会（硬・毛）	大書心会本部
3月21日（月・祝）	令和4年総会	土岐市文化プラザ

今年度のペン字展は休止させていただきます

- ▼令和3年度の大書心会ペン字展は、いつもの会場がコロナワクチン接種で使用されるため、替わりとなる会場もなく、止むなく今年の開催も休止とさせていただくこととなりました。
- ▼併せて、教育部硬筆コンクール作品展、授賞式も休止となります。（誌上のみでの開催となります）
- ▼ペン字展出品に向けて準備を進めておられた方や鑑賞を楽しみにしておられた皆さんには大変申し訳ございませんが、上記事情ご理解の上、ご了承の程お願い申し上げます。